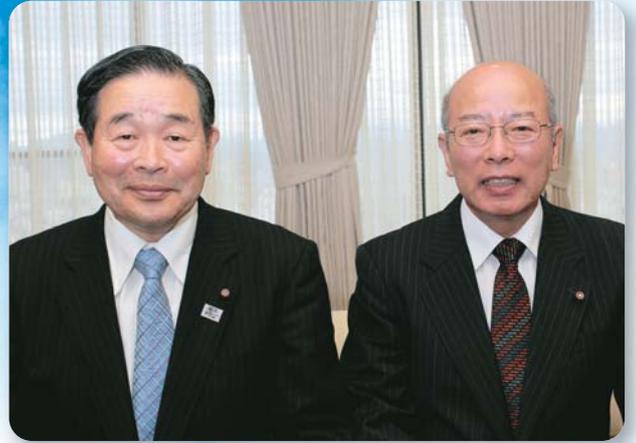


いずも 市議会 だより

出雲市議会新体制スタート!!



宮本 享 議長

長廻 利行 副議長



総務委員会



文教厚生委員会



環境経済委員会



建設水道委員会

新体制決まる

第1回臨時市議会において、選挙により議長に宮本亨議員、副議長に長廻利行議員を選出しました。また、臨時市議会では、各常任委員会と議会運営委員会を、第2回定例市議会では特別委員会のメンバーをそれぞれ選出し、新しい体制を決定しました。

正副議長 就任あいさつ



議長 宮本 亨

平成二十三年五月三十一日に開催された出雲市議会臨時会において、多くの議員の皆様のご推挙をいただき、第四代出雲市議会議長の重責を担うこととなりました。

先の東日本大震災においては、多くの皆様が被災され、尊い命が失われました。出雲市議会を代表して、亡くなられた方に対し心からご冥福をお祈り申しあげるとともに、被災された皆様に対しお見舞い申しあげます。また、一日も早い復旧・復興をお祈り申しあげます。

さて、出雲市は、平成十七年三月二十二日、二市四町の合併により誕生して以来、市民の一体感の醸成に努めながら、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを進めてまいりました。六年余りが経った今、これらが次第に現実のものとなり、また、市民にも定着してまいりました。

一方で、国内情勢に目を転じますと、経済状況は一層深刻になっており、景気の低迷、雇用不安が拡大しております。また、少子高齢化が一層進み、子育て支援策並びに社会保

障の充実が急がれ、更に、先の東日本大震災の影響を受け、改めて安全で安心な災害に強いまちづくりの推進が求められるようになりました。また、地球温暖化問題や新エネルギーの推進など、日本全体で取り組んでいかなければならない課題にも多く直面しております。

当市議会としても、これらの今日的課題が市政運営にも大きく影響することから、十分に目を向けながら積極的に議論していきたいと考えております。

本年十月一日には斐川町との合併により、新たに十七万都市が誕生いたします。この合併により新「出雲市」は今まで以上に自然・歴史・文化など豊富な資源に恵まれ、多くの可能性を秘めた魅力あるまちづくりが期待される所です。平成二十五年には、六十年ぶりに出雲大社の平成の大遷宮が予定されており、またとないこの機会に、産業振興の大きな柱である観光産業に大きな力を注ぎ、「出雲ブランド」を情報発信しながら、出雲の魅力を高めていきたいと考えております。

最後になりましたが、この新「出雲市」を議会と執行部とが車の両輪となってしっかりと創り上げ、将来を担う子どもたちに責任を持って引き継いでいく努力をしてまいりますので、市民の皆様のご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



副議長 長廻 利行

この度の臨時議会において、副議長にご推挙を賜り、就任いたしました。

新出雲市が誕生し、六年が過ぎましたが、いよいよ本年十月に斐川町と合併し、十七万都市の出雲市が誕生します。

斐川町と合併することにより、いろいろな地域資源をもとに総合力を発揮することができ、またスケールメリットを生かした行財政の効率化も可能になるなど、より安定した住民サービスを提供していくことが可能になると思われます。

しかし、依然として財政は厳しい状況にあり、安定した持続可能な財政運営を行うっていくために、引き続き行財政改革は進めていく必要がありますが、必要な事業は進めていかなければなりません。

特に、出雲大社の大遷宮を千載一遇のチャンスととらえ、本市の多彩な観光資源を活用した地域振興を図っていかねばならないと考えております。

執行部と議会とが両輪となり、島根の顔として、出雲市が真に住みよい町、五つ星の出雲市をめざし、議長の補佐役として、市政発展と議会活動の充実のため、市民目線の議会運営に努めてまいります。

今後とも皆様方の一層のご指導ご協力をお願い申しあげ、就任のあいさつとさせていただきます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会 委員名簿

◎…委員長 ○…副委員長 平成23年6月21日現在

| | | | | | |
|-------|------------------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 常任委員会 | 総務委員会 (定数9名 1名欠員) | ◎多久和康司 板倉 一郎 | ○飯塚 俊之 川上 幸博 | 遠藤 力一 曾田 盛雄 | 山根 貞守 直良 昌幸 |
| | 文教厚生委員会 (定数9名 1名欠員) | ◎松村 豪人 坂根 守 | ○板垣 成二 山代 裕始 | 木佐 宏 宮本 享 | 福代 秀洋 原 隆利 |
| | 環境経済委員会 (定数8名) | ◎萬代 輝正 米山 広志 | ○狩野 正文 古福 康雅 | 小村 吉一 杉谷 寿之 | 板倉 明弘 寺田 昌弘 |
| | 建設水道委員会 (定数8名) | ◎勝部 順子 広戸 恭一 | ○西村 亮 荒木 孝 | 大国 陽介 長廻 利行 | 多々納剛人 珍部 全吾 |

| | | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------|
| 議会運営委員会 (定数12名 1名欠員) | ◎山根 貞守 板倉 一郎 古福 康雅 | ○遠藤 力一 曾田 盛雄 珍部 全吾 | 板垣 成二 福代 秀洋 寺田 昌弘 | 大国 陽介 山代 裕始 |
|-------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------|

| | | | | | |
|-------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------|
| 特別委員会 | 斐伊川・神戸川治水対策 特別委員会 (定数8名) | ◎寺田 昌弘 川上 幸博 | ○板倉 明弘 広戸 恭一 | 狩野 正文 荒木 孝 | 木佐 宏 珍部 全吾 |
| | 総合交通対策特別委員会 (定数8名) | ◎福代 秀洋 勝部 順子 | ○山根 貞守 宮本 享 | 小村 吉一 原 隆利 | 松村 豪人 古福 康雅 |
| | 観光産業振興特別委員会 (定数8名) | ◎杉谷 寿之 直良 昌幸 | ○曾田 盛雄 坂根 守 | 飯塚 俊之 米山 広志 | 板垣 成二 多久和康司 |
| | 原子力発電・新エネルギー調査 特別委員会 (定数8名) | ◎多々納剛人 萬代 輝正 | ○西村 亮 板倉 一郎 | 大国 陽介 山代 裕始 | 遠藤 力一 長廻 利行 |
| | 予算特別委員会 (定数15名) | ◎古福 康雅 狩野 正文 多々納剛人 荒木 孝 | ○勝部 順子 小村 吉一 福代 秀洋 珍部 全吾 | 飯塚 俊之 松村 豪人 直良 昌幸 寺田 昌弘 | 板垣 成二 板倉 一郎 米山 広志 |

原子力発電・新エネルギー調査特別委員会をあらたに設置

第2回定例会市議会において、これまでの予算など4特別委員会に加えて、島根原子力発電所にかかる諸問題の調査研究や新エネルギーの開発に関する調査をするため、原子力発電・新エネルギー調査特別委員会を設置しました。

また、これまで設置していた出雲・斐川合併特別委員会は、その設置目的を達成したことから廃止しました。

平成23年度 第2回 出雲市議会(定例会)

開会 平成23年(2011)6月14日(火)

閉会 平成23年(2011)7月4日(月)

会期21日間

6月14日(火) 本会議(開会、議案上程、説明)

17日(金) 本会議(一般質問・1日目)

20日(月) 本会議(一般質問・2日目)

21日(火) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)

23日(木) 総務委員会

6月24日(金) 文教厚生委員会

27日(月) 環境経済委員会

28日(火) 建設水道委員会

29日(水) 予算特別委員会

7月 4日(月) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

6月定例会市議会 報告

平成23年度(2011)出雲市一般会計第2回補正予算を可決するなど、26議案を議決しました。

議会の動き

6月定例会市議会では、市長から25件の議案が提案されました。その内容は、「平成23年度(2011)出雲市一般会計第2回補正予算」などの予算議案2件、「出雲市手数料条例の一部を改正する条例」などの条例議案4件、「出雲市・斐川町合併協議会の廃止について」などの一般議案19件が提案され、25議案を原案のとおり可決または同意しました。

議員提出議案は、「原子力発電所事故に係る抜本的な計画等の見直しを求める意見書」を可決しました。

平成23年度 第1回 出雲市議会(臨時会)

開会 平成23年(2011)5月31日(火)

閉会 平成23年(2011)6月1日(水)

会期2日間

5月31日(火) 本会議(開会、議案上程、委員会付託、委員長報告、討論、採決、正副議長選挙)、総務委員会、文教厚生委員会、予算特別委員会

6月 1日(水) 本会議(採決、閉会)

5月臨時市議会 報告

東日本大震災の緊急雇用対策にかかる事業など、9議案を議決しました。

議会の動き

5月臨時市議会では、市長から9件の議案が提案されました。その内容は、「出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例」などの専決処分の承認について3件、「平成23年度(2011)出雲市一般会計第1回補正予算」と「出雲市教育委員会委員の任命について」などの人事議案5件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決または同意しました。また、出雲市監査委員1名の選任と出雲市農業委員会委員2名の推薦を行いました。

常任委員会報告

身体障がい者や高齢者などが利用できるようなエレベーター整備を求める陳情を採択

総務委員会

審査の付託を受けた案件は、議案七件、請願一件、陳情三件です。

主なものとして、議第十七号「包括外部監査契約の締結」は、本年度から導入した外部の専門家による外部監査制度にかかる、本年度の包括外部監査契約を締結することについて、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。

なお、包括外部監査制度は必要だが、議決を求めるにあたっては監査内容やそれぞれに基づく契約金額の根拠などの説明があつてしかるべきではないかとの意見がありました。陳情三件は、二階建てのコミュニティセンターへのエレベーター整備を求める陳情であり、三件とも採択すべきものと決定しました。なお、コミュニティセンターなど、老朽化した公共施設の改

良、改築の要望は、今後多数見込まれることから、公共施設の建設や改築にあたっては、住民理解が得られる明確な判断基準で年次計画を作成して対処すべきとの意見がありました。



荒木コミュニティセンター

「医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願」など二件は継続審査に

文教厚生委員会

本委員会に二件の請願が付託されました。

まず「医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願」です。医療費の窓口負担が高く、必要な医療を受けることができない人が多数あり、全世代にわたる窓口負担軽減の意見書を採択し、国などに提出することを求めるものです。委員からは、採択すべきとの意見や、財源確保の問題から不採択すべきとの意見、医療制度の根幹の問題であり趣旨採択すべきとの意見などがありました。審査の結果、新体制となった本委

員会において、さらに調査をし、慎重に審査するため、継続審査と決定しました。

次に、「子ども・子育て新システムに反対し、子育て支援の充実を求める請願」です。同システムの導入により、保育サービスが市場原理に委ねられ、保育の質の低下が懸念されることから、これに反対する意見書の提出が求められていますが、国において審議中であり、具体的な方向が示されてから詳細な審査をすべきことから、継続審査としました。

各農業支援策についての議案を可決

環境経済委員会

審査の付託を受けたのは、単行議決案件五件です。

議第十四号「出雲市及び斐川町斐伊川用水対策協議会の廃止について」、議第十五号「出雲市・斐川町

貸し付け決定から五年後に経営を継続している場合、資金返還を免除することについて議決を求めるもので、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

南神立橋区間管理協議会の廃止について」の両議案は、斐川町との合併にともない九月三十日をもって廃止するため議決を求めるものであり、可決すべきものと決定しました。議第二十二号「農業担い手法人化促進資金の返還免除について」は、

議第二十三号「新規就農者経営安定化資金の返還免除について」及び議第二十四号「青年農業者初期経営安定資金の免除について」は、就農後五年間、または貸与を受けてから五年間、市内において専業的に農業に従事した場合に、新規就農者、ま

たは青年農業者の資金返還を免除することについて議決を求めるもので、審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定しました

また、過去五年の新規就農者数の説明を求め、二十八名との資料の提示を受けました。

新内藤川・午頭川改修計画の抜本的見直しを求める陳情

建設水道委員会

「新内藤川・午頭川改修計画の抜本的見直しを求める陳情」は、斐伊川放水路から神戸川に分流が始まった際に、長浜地区で浸水被害を心配

され、神戸川内にある導流堤のかさ上げや新内藤川・午頭川改修計画を抜本的に見直すよう、国土交通省と島根県に働きかけを求めるもので



落合橋付近で説明を受ける(西園町)

斐伊川・神戸川治水事業のうち、大橋川改修完了の見通しが立たない中で長浜地区の住民の方が、浸水被害について不安を感じられていることについては理解できるものの、国土交通省などからの説明が不十分なため、さらに説明を尽くし地元理解を得る必要があること。一方、願望の実現には多額の費用がかかることが予想され、その効果も不明などの理由から、趣旨採択と決定しました。委員からは、技術的、理論的な面から、国土交通省などから説明を聞き、審査を尽くすためには継続審査。映像な

ども使って丁寧な説明をするべき。また、この陳情について継続審査中にもかかわらず、執行部が市の考え

を地元で回答していたことに対し、議会軽視ではないかなどの意見もありました。

特別委員会報告

斐川町との合併経費や看護系専門学校誘致にともなう用地取得経費など

予算特別委員会

平成二十三年度「出雲市一般会計

第二回補正予算」と「下水道事業特別会計第一回補正予算」の二件について、六月二十九日に委員会を開催し審査を行いました。

一般会計補正予算は、歳入歳出予算それぞれ三十三億六千四百万円を追加し、総額六百八十七億三千万円とするものです。

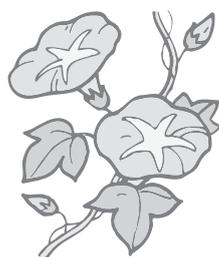
総務費は、斐川町との合併経費や看護系専門学校誘致にともなう用地取得経費など合計二十四億円あまり、民生費は、保育園増改築整備補助金など二億二千万円あまり、衛生費は、乳幼児健診等専用会場の整備など二千万円あまりの追加です。

農林水産業費は、農業参入企業支援事業など七千五百万円あまり、商工費は、工業団地の企業立地促進補助金二千四百万円あまり、土木費は、地方道改修事業や街路事業など五億三千四百万円あまりの追加で

す。

教育費は、平田愛宕山野球場のバックネット改修など四千三百万円あまり、災害復旧費は、五月の大雨被害応急工事など二千六百五十万円を追加です。審査の結果、原案のとおり可決しました。

下水道事業特別会計補正予算は、歳入歳出予算総額を五十六億二千九百万円とするもので、審査の結果、原案のとおり可決しました。





宮本議長が漢中市を公式訪問



出雲市と中華人民共和国の漢中市は、平成三年に友好協定を締結してから技術研修生の受入れ、国際保護鳥トキを通じた交流、スポーツや写真・書画の相互交流など幅広い交流を行ってきました。

今年、協定締結から二十周年を迎え、七月十五日に漢中市で記念式典が開催されました。

本市からは、宮本議長や長岡市長など七名の公式訪問団と民間交流団体の市民二十三名が漢中市を訪問し、張人民代表大会主任や胡市長などとの交流を深めました。

今回の訪問により、今後両市の歴史・文化をさらに理解し、相互交流を深めることが確認されました。

「出雲市議会市政調査研究会」

出雲市議会では、市の主要事業などについて、独自に調査研究を行うため、次の13の協議会などからなる「市政調査研究会」を設置しています。

| 名称 | 調査研究内容 |
|--------------|-----------------------------------------------|
| 新内藤川・赤川対策協議会 | 新内藤川や赤川の河川改修整備に関する調査 |
| 十間川水系対策協議会 | 十間川水系の河川改修整備に関する調査 |
| 堀川水系対策協議会 | 堀川水系の景観・治水安全整備に関する調査 |
| 出雲平田線対策協議会 | 一般県道出雲平田線の改良整備に関する調査 |
| 大社立久恵線対策協議会 | 一般県道大社立久恵線の改良整備に関する調査 |
| 水産・漁業対策協議会 | 水産業や漁業の振興対策に関する調査 |
| 森林・林産業対策協議会 | 森林の整備や林業・林産業の振興に関する調査 |
| 循環型社会構築協議会 | 循環資源の再利用やリサイクルの推進策などに関する調査 |
| 地域医療福祉協議会 | 地域医療の向上を図るための総合医療センターを中心とした地域医療福祉の拡充や整備に関する調査 |
| ICT活用調査研究会 | ICT(情報通信技術)を活用したネットワークの強化に関する調査 |
| 広報委員会 | 議会だよりの発行、ホームページの更新など議会の広報活動 |
| 国県道対策協議会 | 国県道の整備促進に関する調査 |
| 神戸川発電用水検討協議会 | 神戸川発電用水利用による神戸川下流、十間川及び神西湖の環境問題、水資源問題に関する調査 |

●●●●●●●●●● 請願・陳情の審議結果 ●●●●●●●●●●

【請願】

継続審査中の請願（平成22年度提出分）

| 請願番号 | 件名 | 提出者 | 審議結果 |
|------|------------------------|--------------------------------|-----------------------|
| 9 | 医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願 | 松江市浜乃木 島根県保険医協会 会長 古沢 正治 | 継続審査 に 賛成多数 |
| | なぜ継続審査 | 6月に新体制となった文教厚生委員会でさらに調査をするため。 | |

今回提出された請願（平成23年度提出分）

| 請願番号 | 件名 | 提出者 | 審議結果 |
|------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1 | 子ども・子育て新システムに反対し、子育て支援の充実を求める請願（意見書提出） | 出雲市大津町 全国福祉保育労働組合 島根支部 執行委員長 野々村 静香 | 継続審査 に 賛成多数 |
| | なぜ継続審査 | 国において審議中で、具体的な方向が示されてから詳細に審査すべきであるため。 | |
| 2 | 島根原発から住民の安全を守るための請願 | 出雲市古志町 新日本婦人の会出雲支部 支部長 景山 祐子 | 不採択 に 賛成多数 |
| | なぜ不採択 | 国から原子力発電の安全対策の新基準が示されていないこと、また、この請願が島根原発の停止を求めることなど内容全体を受け入れることができないため。 | |

【陳情】

継続審査中の陳情（平成22年度提出分）

| 陳情番号 | 件名 | 提出者 | 審議結果 |
|------|----------------------------|-------------------------------------|-----------------------|
| 9 | 新内藤川・午頭川改修計画の抜本的見直しについての陳情 | 出雲市荒茅町 新内藤川対策委員会 委員長 福田 勉 他8名 | 趣旨採択 に 賛成多数 |

今回提出された陳情（平成23年度提出分）

| 陳情番号 | 件名 | 提出者 | 審議結果 |
|------|--------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------|
| 1 | 湖陵コミュニティセンターへの昇降機の整備を求める陳情(湖陵町身障者協会会長) | 出雲市湖陵町三部 湖陵町身障者協会 会長 今岡 秀生 | 採択 に 全員賛成 |
| 2 | 湖陵コミュニティセンターへの昇降機の整備を求める陳情(湖陵町高齢者クラブ連合会会長) | 出雲市湖陵町三部 湖陵町高齢者クラブ連合会 会長 竹下 茂 | 採択 に 全員賛成 |
| 3 | 荒木コミュニティセンターエレベーター新設に関する陳情 | 出雲市大社町北荒木 荒木地区町内会長会 会長 黒目 光正 他3名 | 採択 に 全員賛成 |

●●●●●●●●●● 意見書の審議結果 ●●●●●●●●●●

【意見書】

| 意見書番号 | 件名 | 審議結果 |
|-------|-------------------------------|-----------------------|
| 1 | 原子力発電所事故に係る抜本的な計画等の見直しを求める意見書 | 原案可決 に 全員賛成 |

市政のここが聞きたい 一般質問

6月定例会市議会では17人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

遠藤力一 議員 (10ページ)

- ◎島根原子力発電所について
- ・災害時の情報について
- ・耐震化対策について
- ・火災警報器について

米山広志 議員 (10ページ)

- ・幼稚園教育
- ◎松枯れ対策
- ・神門コミュニティセンター機能補完対策補助金

原 隆利 議員 (11ページ)

- ・出雲市総合ホランテシアセンターの活動
- ・就学援助の実態と市の取り組み
- ◎神門地区に見る地元対策のあり方

川上幸博 議員 (11ページ)

- ・出雲市教育の基本方針について伺う
- ◎危機管理指針「災害」防止について

大国陽介 議員 (12ページ)

- ・東日本大震災の被災者支援について
- ◎エネルギー政策の基本認識について
- ・島根原子力発電所の安全管理体制について
- ・生活保護の窓口対応について
- ・来年4月からの中学校での武道必修化について

板倉一郎 議員 (12ページ)

- ◎出雲市の新エネルギーおよび省エネルギーへの取り組みについて
- ・第3セクターの改革状況について

板倉明弘 議員 (13ページ)

- ・運動を通じた健康増進と介護予防事業の拡充を求める
- ・新しい健診センターとPET-CTがんドックによる市民の健康保持と予防医療の充実について
- ◎新しい教育基本法が制定されて初めての教科書検定が行われた。今年度夏に行われる中学校教科書採択について

小村吉一 議員 (13ページ)

- ・福島原発事故を経たの原子力発電政策について問う
- ◎学校教育後援会費について
- ・特別養護老人ホームの増設について
- ・「神門コミセン機能補完対策補助金」について

珍部全吾 議員

- ・原子力発電所の今後の見通しについて
- ・市内幼稚園の実態について
- ・日御碕のホテル建設について

木佐 宏 議員 (14ページ)

- ◎虚像長岡市政を斬る第3弾
市民を苦しめ続ける副市長ら軽薄未熟な執行体制を糾弾する

坂根 守 議員 (14ページ)

- ・市長就任時に職員にお願いした3S(シンプル・スピード・スマイル)の実現状況は
- ◎「田儀櫻井家の越堂たたら跡」の整備を早急に
- ・多伎町の風力発電の修理は早急に

萬代輝正 議員 (15ページ)

- ・「北山健康温泉」の現状報告と関係者への対応について問う
- ◎今年度の「合併特例債」充当事業と今後の使途について

杉谷寿之 議員 (15ページ)

- ◎出雲大社、平成の大遷宮が迫っている。市としての対応は

勝部順子 議員 (16ページ)

- ・東日本大震災を教訓に、防災対策(地震など)の更なる充実を
- ◎人と動物の共生社会をめざして

西村 亮 議員 (16ページ)

- ◎島根原発の安全対策と出雲市の取り組み

飯塚俊之 議員 (17ページ)

- ・湯谷川の河川改修について
- ◎東日本大震災・福島第一原発事故における自治体対応と対策について

狩野正文 議員 (17ページ)

- ◎平成23年5月11日からの降雨による被害について

島根原発について住民の安全を守る視点から問う

遠藤 力一



問

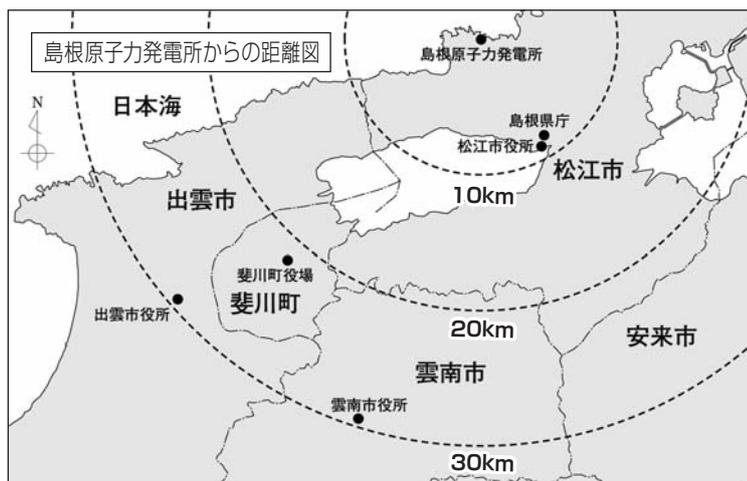
島根原発で事故があると広大な地域に影響があり、出雲市民の生命財産、そして未来が守れない。一番安心できるのは原発の即時停止から廃炉にすることだが、廃炉にしても、安全な状態にするには十年以上を要する。その間に何の事故もないとは言えず、真剣に市民の安全のために手を尽くす必要がある。そこで、島根原子力発電所に対する長岡市長の考え、EPRZに認められる意義について伺う。

市長

島根原発については、東日本震災を受け、中国電力に対して原子力発電所の安全運転を徹底すること、国の対応を待たずに安全対策を早急にとることなどの申し入れをし、電力事業所において一定の津波対策が講じられる見込みであり、市としても早急な実施を促していきます。今後の取り扱いは、国における安全基準、防災指針の徹底的な見直しを受けて、判断すべきと考えています。

EPRZは、国の原子力安全委員会が定めた防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲で、周辺住民などへの迅速な情報連絡手段の確保、緊急

時のモニタリング体制の整備、原子力防災に特有の資機材の整備などがあり、指定されると住民の安全確保に大きなメリットがあります。



松枯れ対策

米山 広志



問

三月議会の施政方針質問に対して「今後松枯れ対策については平成二十三年度に、これまでの対策の検証、そして現在の被害状況などをさらに詳細に検討し、効果的で市民の合意が得られる方針を検討する」という答弁が何回かあった。検討される具体的な内容と平成二十一年度三月に決定された出雲市松くい虫防除対策基本方針との整合性は。

農林水産調整監

基本方針の期間は平成二十一年度から三十年度までの十年間ですが、
①松くい虫防除計画区域の本年二月末現在の推定被害が前年同期の一七四%となっており、出雲北山山地は特に被害が拡大しています。
②国の森林病害虫防除法に基づく市の松くい虫防除計画区域の計画期間が今年度までで、来年度以降の区域を見直す必要があります。

③今後、国・県の補助金の削減が予想され、より効果的、継続的な防除対策を実施しなければなりません。
④自治会連合会をはじめ多くの皆様から空中散布再開を含めた総合的な防除対策の見直しについて要望書が

提出されています。そのため、松枯れ対策再検討会議を設置し、十一月をめどに総合的な指標及び対策などを取りまとめることにしています。



松枯れの市有林 (出雲市東神西町)

神門地区へ百七億円

原 隆利



問 電車基地、火葬場、エネルギーセンターなど、公共事業における神門地区に対する地元対策費の総額はいくらか。

環境政策調整監

地元対策費の内訳と総額は、電車基地関連二十四億三千四百万円、ディーゼル車両乗り入れ関連三十六億八千六百万円、出雲斎場関連二十五億二千五百八十万円、エネルギーセンター関連二十一億二千九百六十万円の合計、百七億七千五百三十万円となっております。

問 多目的会館はもとも芦渡町保二町内会、保三町内会の集会施設として要望が出され、その要望に沿って建設された。その上に保二町内には土地付きの集会所、保三町内は、集会所の改修工事が地元要望に沿う形で実現した。これは二重補助ではないのか。

環境政策調整監

多目的会館は、広く老若男女が交流できる形のものとして、集会所はその地区独自のものとしてそれぞれ

異なった目的で要望がされたものであり、一つ一つ精査した結果、地元要望としてそれぞれ認めることとなりました。

市長

地元要望については、一定の範囲の中で応えていく必要があり、おのずから一定の限度の中で収めるべきことと思っています。今後もそのような考え方で対応してまいります。



神門の地元対策は電車基地建設から始まった

風水災害への備えは万全か

川上 幸博



問 今年は、例年になく早く梅雨入りした。また、ゲリラ的豪雨などの異常気象による災害が全国的に多発している。出雲市では、
①風水害の想定規模は、どの程度か。
②がけ地や家屋のある溪流などの土砂被害対策の必要箇所数と対処状況、住民への周知状況はどのように行われているのか伺う。

総務部長

①想定豪雨の規模は、斐伊川流域での二日間雨量三百九十九ミリ、神戸川流域は、二日間雨量三百八十六ミリを想定しています。これにより斐伊川、神戸川流域の浸水想定区域を設定し地域防災計画に浸水対策を定めています。尾原ダムと志津見ダムの完成により出雲河川事務所は、市、県とともに斐伊川水系の浸水想定区域を見直し、平成二十五年には新たな浸水想定区域図を提示する予定です。

②砂防危険箇所三百五か所のうち十か所が整備済みです。また、地すべり危険箇所は、八十か所のうち整備済みは三十か所、急傾斜危険箇所は、二百四か所のうち整備済みは四十四か所ですが、県に対し、未実施箇所

の早急な対策を要望しています。危険箇所の周知方法は、地区ごとにハザードマップを配布しています。



内水排除対策が望まれる午頭川（落合橋より下流を望む）

原発ゼロをめざし、 自然エネルギーの普及拡大を

大国 陽介



問

福島原発事故は、日本と世界の人々に衝撃を与えた。

今回、明らかになったことは、一つに原発事故には異質の危険があり、放射能が外部に放出されると、それを抑える手段は存在しないということ。二つに、使用済み核燃料の後始末の方法が未確立であり、それを閉じ込めておく保証がないなど、技術が未完成であるということ。三つに、原発を世界有数の地震国である日本に集中立地させることの危険性などである。

市長

原子力政策については、国で議論されるものであり、結論を待ちたいと思います。今後、風力、太陽光、バイオマスといった再生可能エネルギーのさらなる導入は不可欠であり、原子力発電の依存度は低減していくと思います。

今後の原発の運転にあたっては、福島の事故を徹底的に検証し、安全

基準を見直す中で、電力事業者に対し適切な対応を求めます。自然エネルギーの活用のため、大規模な施設だけでなく、住宅用太陽光発電システムの普及、小水力発電、チップボイラーなども推進する必要があります。特に住宅用太陽光発電への助成について新制度を検討したいと考えます。



住宅用太陽発電システム、普及のためには行政の支援が欠かせない

大規模太陽光発電所の誘致を

板倉 一郎



問

新エネルギーについて次の点を伺う。

- ①新エネルギー推進室を設置し今後どのように取り組むのか。
- ②メガソーラー（大規模太陽光発電所）の具体的な誘致状況について。

市長

①本年四月に、新エネルギー推進室として体制強化を図ったのは、新エネルギー産業の創出や、民間事業者の誘致にも結び付けようと考えたからです。経済産業省資源エネルギー庁から新エネルギー推進室長を迎え、今後、さらに国との連携を密にし、新エネルギーへの取り組みを強化します。

②現在、メガソーラー事業の候補地の選定や日照時間などの気象条件の調査研究を進めるとともに、エネルギー事業者数社へ本市でのメガソーラー事業の展開を打診しています。候補地として考えているのは、斐伊川放水路事業の残土処分場であるグリーンステップと多伎町奥田儀の市有地で元ゴルフ場が予定されていたところ。

問

県に、グリーンステップの活用を積極的に申し入れてはどうか。

市長

出雲市から、こういった利活用も含めて検討していきたいという立場で、知事に話をします。



大規模太陽光発電所候補地（グリーンステップ）

新しい教育基本法の趣旨に沿った教科書を採用すべきではないか

板倉 明弘



問 来年度四月から市内の中学校で使う教科書の採択作業が教育委員会で行われている。国旗、国歌の意義と相互に尊重することが国際的儀礼であることや、竹島・尖閣諸島および国家主権の侵害について、きちんと教えない教科書、自衛隊を憲法違反とする見解を強調したり、拉致問題を解決すべき国民的課題とせず、深刻な人権問題、国家主権侵害と教えない教科書が見受けられる。教科書採択にあたり、教育委員会の所見を伺う。また、採択に関する会議の公開、議事録の公表、採択理由の開示を行うのか伺う。

教育長

出雲教育事務所管内の二市三町で構成する「出雲採択地区教科書用図書採択協議会」では、各教科書について研究・調査組織を立ち上げ、現在、教科書採択に向け研究作業を進め、来年度から中学校で使用する教科書の協議を行っています。市教委としては、この研究結果を踏まえ、島根や出雲の地域、歴史、風土などを勘案した上で、本市の中学生にとって、最もふさわしい教科書を公正かつ適切に採択していく考えです。

また、教科書採択に関する会議は公開します。採択理由については、八月三十一日に公表します。



この中から来年度市内中学校で使用する教科書が選択される
(中央図書館内出雲教科書センター)

教育委員会の予算措置による教育後援会費の逓減、廃止を

小村 吉一



問 町内会費などで一括徴収されている教育後援会費の現状について伺う。
①教育後援会費を受理している学校の数 ②その総額 ③使途などは。

教育部長

①平成二十二年度で教育後援会の援助組織がある学校数は、小学校三十七校中で三十四校。中学校は十三校すべてにあります。
②後援会費の総額は、二十二年度で小学校では四千百万円。中学校では五千十百万円です。
③使途の大まかな特徴は、小学校では学校の環境整備や卒業祝品、部活動経費や学校だよりなどの経費に使われ、中学校では大部分が部活動にかかわる備品購入や大会派遣などに使われています。

問 いずれも教育活動にかかわる経費として使われている。「義務教育無

償」の立場から、教育委員会がそのための予算措置を行い、逓減、廃止の方向へ指導すべきと考えらるが。

教育部長

教育後援会は、あくまでも地域の皆様の意思によるもので、その会費など運営については、それぞれの教育後援会により決定されるものです。しかし、強制的な集金や過度の負担にならないように配慮されるべきものと考えています。

集金明細票

| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 常会費 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| 教育後援会費(小学) | | | 600 | | | |
| 教育振興会費(中学) | | | 1,500 | | | |
| 社会福祉協会費(市) | | | | 1,000 | | |
| 社会福祉協会費 | | | | 600 | | |
| 自治会費 | | 1,200 | 1,100 | 1,100 | | |
| 交際協会費 | | 300 | 500 | | | |
| 体育協会費 | | 900 | 600 | | | |
| 消防費 | 3,000 | | | | | |
| 土地改良費 | | | | | | |
| コミュニティセンター賦課金 | | | | 1,060 | | |
| 明るいまちづくり推進協議会費 | | | | 500 | | |
| 体育協会費 | | | 2,000 | | | |
| 赤十字社費 | | 1,000 | | | | |
| 緑の募金 | | 200 | | | | |
| 合計 | 4,000 | 4,600 | 7,300 | 12,760 | 1,000 | 1,000 |

上半期合計

| 項目 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 常会費 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| 教育後援会費(小学) | | | 600 | | | |
| 教育振興会費(中学) | | 1,200 | | | | |

昭和20年代から続く教育後援会費

虚像長岡市政を斬る第三弾 市民を苦しめ続ける副市長ら 軽薄未熟な執行体制を糾弾する

木佐 宏



だきたい。

教育長

問 国富幹線用水路改修事業工
ア農民の即刻苦痛排除と、児
童生徒らのメインスクールゾーンの
ベストなる歩道新設整備を提言、傍
観する教育関係者の姿勢と、当事者
主権を侵害し民意捏造で強硬を官民
一体で繰り広げ、町内会組織の崩壊
をも惹起する裏切り行為を質す。

河内副市長

計画の中身の問題と進め方につい
て、私も昨年来、委員会のご指摘も
踏まえて、市長とも緊密に連携情報
交換を取りながら対応、より良い方
法を見つけて行きたいと思えます。

問 調査を約束できるか。きちつ
と正面から向き合つか。

河内副市長

さらに指摘を踏まえ、そういう事
も含めて、やってまいりたいと思
います。

問

歩道問題、実態をどう考えて
いくのか、私の資料全部見ら
れ、西尾市長時代の回答書をも踏ま
えて、教育長として約束をしていた



用水路沿いを左側通行で登校の小学生隊列情景

日頃から通学路の安全に、ご尽力
を賜り、まずもって感謝申しあげま
す。本件につきましては先程から経
過を聞かせていただき、過去、子ど
もが川に転落したとか、やむを得ず
左側しか通れないとか、そういう実
態も聞いており、できるだけ早く実
行の上がる形で、私も現場の方へ伺
いまして、現状を見ながら検討させ
ていただきたいと思います。

口田儀越堂たたら の整備計画は

坂根 守



問

平成十八年に田儀櫻井家のた
たら製鉄に関する地域が、国
の史跡に指定され、智光院や金屋子
神社が修復された。

平成二十一年には、越堂たたらと
聖谷たたらが国の史跡として追加指
定された。保存管理計画書を作成す
るにあたり、地域の方々から同意書
をいただいた。同意をした地域は、
今後新築の許可が出ないなどの制約
がある。地元としては、早く本格的
な発掘調査を行い、見学が出来るよ
うな施設整備を期待している。具
体的な年次計画を伺う。

文化環境部長

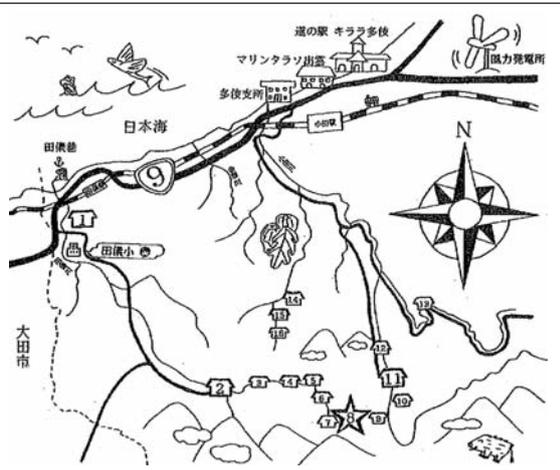
平成二十二年に「史跡田儀櫻井家
たたら製鉄遺跡整備検討委員会」を
立ち上げ、遺跡や駐車場、ガイダン
ス施設などの総合的な整備を練って
いる段階です。

本年度は、越堂たたら跡の高殿た
たら部分を中心に用地測量、平成
二十四年度に用地取得を行い、遺構
の保護を図ります。平成二十五年度
から二十六年にかけて発掘調査を実
施し、二十七年に整備工事の基本
設計、二十八年には実施設計を行
い、整備工事は、二十九年から始

める計画です。

田儀櫻井家たたら製鉄遺跡マップ

- | | |
|------------|-------------|
| 1 越堂たたら跡 | 9 聖谷奥Ⅱ遺跡 |
| 2 宮本鍛冶山内遺跡 | 10 聖谷奥Ⅰ遺跡 |
| 3 屋形遺跡 | 11 聖谷たたら跡 |
| 4 掛樋たたら跡 | 12 茗ヶ原たたら跡 |
| 5 屋敷谷Ⅰ遺跡 | 13 道ヶ崎たたら跡 |
| 6 屋敷谷Ⅱ遺跡 | 14 西明原前たたら跡 |
| 7 屋敷谷Ⅲ遺跡 | 15 西明原たたら跡 |
| 8 屋敷谷たたら跡 | 16 堂のそねたたら跡 |



合併特例債充当事業と 今後の用途を問う

萬代 輝正



問 合併後の斐川町への特例債の活用は可能か。

答 二市四町の合併後六年が経過した。地域の格差や老朽化した学校やコミセンの改修、道路整備や下水道改良事業など社会資本整備にも積極的に合併特例債が投入された。約五百億円の内、既にどれだけ使って、今後どのようなことに使う予定か。

財政部長 合併特例債は、あくまでも二市四町の合併に基づく財源措置であるので、旧二市四町の事業に活用していくべきものと解釈しています。

財政部長

平成二十二年度までの合併後六年間で、三百八十六億円あまりを発行し、全体の七十四%です。

平成二十三年度では、「水産物産地市場」、「平田消防署」、「向陽中学校」、「新東部学校給食センター」といったものを当初予算で計上し、六月補正予算では、「看護系専門学校誘致事業」に充当しています。残りの発行可能額は、八十四億四千万円となる見込みです。

今後引き続き、これまでの方針と同様に、道路・街路整備などの基盤整備に活用したいと考えています。が、「四路コミセン」や間もなく着手する「北陽小学校」の増築といったものもあり、今後、全体的に精査して、限られた特例債を計画的かつ有効に活用していきたいと考えています。

合併特例債の使用状況

| 起債発行可能枠 (H17~H26) | | (A) | | | | | | | | | | 起債発行可能残枠 (H24~H26) | | (B) | | | | | | | | | |
|-------------------|------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|--|--|--------------------|-----|-----|---|--|--|-----|-----|-----|---|--|--|
| 49,730 | | (A) | | | | | | | | | | 8,445.7 | | (B) | | | | | | | | | |
| | | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 予定 | 計 | | | H24 | H25 | H26 | 計 | | | H24 | H25 | H26 | 計 | | |
| 1 | 幹線市道10か年道路整備事業 | 817.6 | 1,547.4 | 2,394.1 | 1,051.1 | 501.9 | 557.3 | 475.5 | 7,344.9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 新庁舎整備事業 | | 817.6 | 581.0 | 4,958.8 | 826.5 | | | 7,183.9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 街路事業 | 792.6 | 1,063.5 | 919.6 | 533.0 | 551.8 | 566.0 | 689.0 | 5,115.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 小中学校・幼稚園整備事業 | 756.8 | 1,266.8 | 863.8 | 191.6 | 253.1 | 48.7 | 492.9 | 3,873.7 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 生活環境道路改良事業 | 502.6 | 353.3 | 516.8 | 318.3 | 232.2 | 148.7 | 315.6 | 2,387.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 生活環境下水道改良事業 | 268.8 | 272.8 | 224.6 | 154.9 | 118.0 | 140.7 | 100.6 | 1,280.4 | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 弥生の森博物館建設事業 (西谷墳墓群活用推進事業) | | 20.0 | 220.7 | 439.6 | 332.8 | 14.9 | | 1,028.0 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 出雲市民会館改修事業 | | 264.8 | 624.7 | 7.1 | 30.2 | | 8.5 | 935.3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 病院事業出資金 | | | | | 189.9 | 501.5 | 230.8 | 922.2 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | コミュニティセンター整備事業 | | | 404.2 | 213.5 | | | 182.3 | 800.0 | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 出雲科学館増築事業 | 22.1 | 264.3 | 505.5 | | | | | 791.9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 学校給食センター再編整備事業 | | | | 12.1 | 22.2 | 179.5 | 521.7 | 735.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | 1,064.1 | 2,000.8 | 915.8 | 1,162.2 | 1,171.2 | 1,105.8 | 1,465.6 | 8,885.5 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | 4,224.6 | 7,871.3 | 8,170.8 | 9,042.2 | 4,229.8 | 3,263.1 | 4,482.5 | 41,284.3 | | | | | | | | | | | | | | |

出雲大社・平成の大遷宮が迫っている。市としての対応は

杉谷 寿之



問 松江市は今年「開府四百年」、島根県では来年から「古事記千三百年」を記念し、全国に向かって文化・観光の一大キャンペーンを展開している。それぞれ施設整備や趣向をこらした「おもてなし」行事を行うこととしている。

六十年に一度の平成の大遷宮が出雲大社により、平成二十五年五月十日から催行され奉賛会もスタートしている。遷宮の歴史を振り返ると、その都度、地域に多大な恩恵をもたらしている。市として、どのように対応しようとしているのか、今後の具体的な取り組み方と基本的な考え方を伺う。

市長 歴史的な大事業であり多くの観光誘客が、期待できる好機です。市としては来雲された方々をきちんともてなし、出雲の魅力を充分に知っていただくことが重要です。観光基盤の整備を図り、観光関連の事業者はもとより、市民全体の意識改革を図る必要があります。今後の取り組みについては地元団体で構成する会を作り、奉賛会と連携を図りながら官民あげて盛り上げていく施策に邁進

したいと考えます。なお、この機をとらえて単に遷宮だけではなしにポスト遷宮も見据えた息の長い取り組みを考えていきます。



昭和28年大遷宮 奉祝祭の様子

殺処分ゼロを目指した 取り組みを

勝部 順子



問

少子高齢社会を背景にペットへの関心が高まり、犬やネコは人間にとって大切な家族の一員であり、人生のパートナーとも言われる時代になった。一方で、捨て犬や野良猫が、年間二十八万匹も殺処分されている現実がある。

① 出雲市での現状（保健所に持ち込まれる犬やネコなど）

② 動物愛護団体への支援（譲渡会の場所の提供など）

③ 熊本市では殺処分ゼロを目指し、「動物愛護推進協議会」が設置され成果を上げている。出雲でも検討を望む。

環境政策調整監

① 飼い主が判明していない犬やネコは、七日間公示し、処分または譲渡をされています。殺処分は、年々減少し、平成二十二年度は、十年前に比べて犬が一割程度に、ネコは三割程度に減少しています。

② 二十四年度には、出雲保健所内に動物愛護棟（仮称）を開設し、犬やネコと触れ合える場を整備し、譲渡の促進を図ることが予定されています。譲渡会の開催も可能で、ボランティア譲渡登録団体への会場貸し出

しも検討されます。

③ 十九年度に「島根県動物愛護管理推進協議会」が設置され、出雲市からも委員として参加し、動物の愛護・管理の推進に協力しています。



飼い犬には迷子札をつけましょう

島根原発の安全対策と 出雲市の今後の取り組みを問う

西村 亮



問

これまでに、島根原発の一号機・二号機の点検不備が二千か所以上も見つかり大変驚いた。特に一号機は建設後三十七年以上経過し、日本で五番目に古い原発であり不安が残る。一号機の再稼働・二号機の営業運転再開（平成二十二年十二月二十八日）、三号機の営業運転開始をひかえ、今後、地震・津波・テロなどの安全対策および山陰両県や松江市を含む六市二町による原子力防災会議などを通じたEPZの拡大や原子力安全協定の締結を図るべきと考えるが所見を伺う。

トルの高台に緊急用発電機の設置、発電所構内全域を囲んでいる防波壁を海拔十五メートルにかさ上げする対策を講じます。原子力防災会議などあらゆる手段により、島根県・中国電力に強力に働きかけ、EPZの拡大、原子力安全協定の締結に向け努力し、原子力発電所の安全対策に取り組みます。

総務部長

島根原発における安全対策の課題につきましては、国が示した方針、津波対策として、高圧発電機車などの配備による緊急時の電源確保などの対策が進められ、国から妥当との評価を受けています。さらなる信頼向上対策として、海拔四十メー



島根県原子力防災センター（松江市内中原町）

出雲市の防災体制強化と 業務継続計画の策定を求める

飯塚 俊之



五月十一日からの 降雨による冠水被害を問う

狩野 正文



問

東日本大震災・福島第一原発事故の発生で、自治体の災害対応や行政事務において、いくつかの課題が明らかになった。

① 多重で多様な情報伝達手段を構築しても、それらに一回の操作で一斉に伝わるようなシステムを作る必要がある。

② GIS（地図情報システム）を活用し、防災機能を高める必要がある。

③ データベースのバックアップ機能は、クラウドが有効な手段だと考える。

④ 災害や事故後も自治体のサービスがきちんと提供できるよう、業務継続計画を策定すべきである。

総務部長

① 情報の発信元の統一については、現在その方向で調整しており、全力をあげて取り組むべきものです。

② 理論的に十分対応が可能だと承知していますが、引き続き調査、研究を進めていきます。

③ クラウド化に関しては、大変興味深く、情報収集も行っています。次のシステム改変の時には、当然対応していくべき課題であります。

④ 新型インフルエンザの流行直前

に、業務継続計画の暫定版を策定しました。しかし、災害別にどのような事象にどう対応し、どのように業務を継続していくのか未策定です。引き続き策定に向け努力していきます。

防災計画と業務継続計画(BCP)の比較

| | 防災計画 | 業務継続計画 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | 生命、身体、財産の安全と保護 | 重要業務の継続 |
| 計画内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害予防 ・災害応急対応 ・災害復旧など | 左記に加えて <ul style="list-style-type: none"> ・災害による業務への影響を評価 ・重要業務の絞込み ・目標復旧時間の設定など |

自治体のクラウド化：従来の業務処理システムや保守管理している機器類などについて、情報システムの効率化や低コスト化するため、自治体情報システムの共同利用を図ること。

問

総雨量二百五十三ミリに達し、平田船川、湯谷川、山王川などが増水し、農地や道路に冠水被害が出た。船川河口部の三つの排水機の内、論田川排水機に大きな負担をかけているのではないか。

① 排水機の運転経費は、地元負担でよいのか。

② ゴミが排水能力を低下させているので、排水機に除塵機の整備が必要ではないか。

農林水産調整監

① 排水機場の運転は、洪水時の農地冠水被害対策と耕作のための地下水位を下げ目的で行っており、市所有の排水機は、管理運転業務の委託、もしくは管理人を委嘱し、直営で管理を行っています。

土地改良区所有のものは、営農のためのルールにより、洪水時期の七月から九月にかかる経費は全額市が負担し、他の時期は経費の五分の一を補助しています。五月にも大雨が降るこ



排水機場に集まるゴミ
(平田船川、湯谷川、山王川河口部にある論田川排水機場)

とを考えると、洪水時期については、検討すべきと考えています。

② 除塵機の整備については、その状況など見ながら、検討すべき課題と考えています。

| 番 号 | 飯塚俊之 | 板垣成二 | 狩野正文 | 木佐 宏 | 西村 亮 | 小村吉一 | 大国陽介 | 松村豪人 | 遠藤力一 | 山根貞守 | 萬代輝正 | 板倉 一郎 | 多々納剛人 | 川上幸博 | 曾田盛雄 | 福代秀洋 | 広戸恭一 | 直良昌幸 | 坂根 守 | 板倉明弘 | 勝部順子 | 米山広志 | 山代裕始 | 原 隆利 | 多久和康司 | 荒木 孝 | 長廻利行 | 古福康雅 | 珍部全吾 | 杉谷寿之 | 寺田昌弘 | 宮本 享 | | | | |
|--------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|---|---|---|---|
| 平成23年度(2011)第1回臨時会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 承第 1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 承第 2号 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 承第 3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 議第 1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 同第 1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 同第 2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 同第 3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 同第 4号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 諮第 1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 推第 1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 推第 2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 全員異議なし | | | | | | | | | | | | 除斥 | 全員異議なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 全員異議なし | | | | | | | | | | | | 除斥 | 全員異議なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度(2011)第2回定例会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議第 2号 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 4号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 5号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 6号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 7号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 8号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 9号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 10号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 11号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 12号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 13号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 14号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 15号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 16号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 17号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 18号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 19号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 20号 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 21号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 22号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 23号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 24号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 25号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第 26号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 請願第2号 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 陳情第1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 陳情第2号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情第3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書第1号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 【継続審査中の請願・陳情】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年度 請願第9号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 平成22年度 陳情第9号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：賛成、●：反対、－：棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

採決の結果

| 番 号 | 件 名 | 審議結果 | 賛成 | 反対 |
|--------------------|-------------------------------------------------|------|----|------|
| 平成23年度(2011)第1回臨時会 | | | | |
| 承第 1号 | 専決処分の承認について(平成22年度(2010)出雲市老人保健医療事業特別会計第3回補正予算) | 承認 | 31 | 0 |
| 承第 2号 | 専決処分の承認について(出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例) | 承認 | 28 | 3 |
| 承第 3号 | 専決処分の承認について(出雲市税条例の一部を改正する条例) | 承認 | 31 | 0 |
| 議第 1号 | 平成23年度(2011)出雲市一般会計第1回補正予算 | 原案可決 | 31 | 0 |
| 同第 1号 | 出雲市教育委員会委員の任命について(木村保孝氏) | 同意 | 31 | 0 |
| 同第 2号 | 出雲市公平委員会委員の選任について(河瀬京子氏) | 同意 | 31 | 0 |
| 同第 3号 | 出雲市監査委員の選任について(吾郷紘一氏) | 同意 | 31 | 0 |
| 同第 4号 | 出雲市監査委員の選任について(直良昌幸氏) | 同意 | 30 | 0 |
| 諮第 1号 | 人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(安田経子氏) | 同意 | 31 | 0 |
| 推第 1号 | 出雲市農業委員会委員の推薦について(多々納剛人氏) | 推薦 | 30 | 0 |
| 推第 2号 | 出雲市農業委員会委員の推薦について(福代秀洋氏) | 推薦 | 30 | 0 |
| | 出雲市農業委員会委員の解任請求について(川上幸博氏) | 決定 | | 簡易採決 |
| | 出雲市農業委員会委員の解任請求について(曾田盛雄氏) | 決定 | | 簡易採決 |
| 平成23年度(2011)第2回定例会 | | | | |
| 議第 2号 | 平成23年度(2011)出雲市一般会計第2回補正予算 | 原案可決 | 24 | 6 |
| 議第 3号 | 平成23年度(2011)出雲市下水道事業特別会計第1回補正予算 | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 4号 | 出雲市手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 5号 | 出雲市湖陵福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 6号 | 出雲市ふるさと市町村圏事業基金条例を廃止する条例 | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 7号 | 出雲都市計画事業出雲市駅通り土地区画整理事業清算金分割徴収に関する条例を廃止する条例 | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 8号 | 島根県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について(東出雲町) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 9号 | 島根県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について(斐川町) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 10号 | 島根県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について(東出雲町) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 11号 | 島根県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について(斐川町) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 12号 | 出雲市・斐川町合併協議会の廃止について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 13号 | 出雲地区ふるさと市町村圏協議会の廃止について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 14号 | 出雲市及び斐川町斐伊川用水対策協議会の廃止について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 15号 | 出雲市・斐川町南神立橋区間管理協議会の廃止について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 16号 | 斐川宍道水道企業団への加入について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 17号 | 包括外部監査契約の締結について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 18号 | 工事請負契約の締結について(向陽中学校校舎建築主体工事) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 19号 | 工事請負契約の締結について(向陽中学校屋内運動場建築主体工事) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 20号 | 工事請負契約の締結について(出雲新東部給食センター(仮称)建築主体工事) | 原案可決 | 29 | 1 |
| 議第 21号 | 備品の取得について(消防ポンプ自動車) | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 22号 | 農業担い手法人化促進資金の返還免除について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 23号 | 新規就農者経営安定資金の返還免除について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 24号 | 青年農業者初期経営安定資金の返還免除について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 25号 | 市道路線の廃止について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 議第 26号 | 市道路線の認定について | 原案可決 | 30 | 0 |
| 請願第1号 | 子ども・子育て新システムに反対し、子育て支援の充実を求める請願 | 継続審査 | 27 | 3 |
| 請願第2号 | 島根原発から住民の安全を守るための請願 | 不採択 | 22 | 8 |
| 陳情第1号 | 湖陵コミュニティセンターへの昇降機の整備を求める陳情(湖陵町身障者協会会長) | 採択 | 30 | 0 |
| 陳情第2号 | 湖陵コミュニティセンターへの昇降機の整備を求める陳情(湖陵町高齢者クラブ連合会会長) | 採択 | 30 | 0 |
| 陳情第3号 | 荒木コミュニティセンターエレベーター新設に関する陳情 | 採択 | 30 | 0 |
| 意見書第1号 | 原子力発電事故に係る抜本的な計画等の見直しを求める意見書 | 原案可決 | 29 | 0 |
| 【継続審査中の請願・陳情】 | | | | |
| 平成22年度 請願第9号 | 医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願 | 継続審査 | 27 | 3 |
| 平成22年度 陳情第9号 | 新内藤川・午頭川改修計画の抜本の見直しについての陳情 | 趣旨採択 | 29 | 1 |

議会活動 (4月1日～8月2日に開催された会議)

- | | |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 4月12日(火) 島根県市議会議長会事務局長会 | 6月15日(水) 全国市議会議長会第87回定期総会 |
| 13日(水) 理事会、スポーツ振興議員連盟 | 16日(木) 全国市議会議員共済会第1回理事会、第102回代議員会議会運営委員会 |
| 14日(木) 広報委員会 | 20日(月) 新内藤川・赤川対策協議会 |
| 18日(月) 広報委員会 | 21日(火) ICT活用調査研究会、全員協議会、広報委員会 |
| 19日(火) 島根県市議会議長会春季定期総会 | 30日(木) 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会 |
| 22日(金) 広報委員会 | 原子力発電・新エネルギー調査特別委員会 |
| 5月13日(金) 議会運営委員会、全員協議会 | 7月1日(金) 議会運営委員会、循環型社会構築協議会 |
| 18日(水) 文教厚生委員会協議会 | 4日(月) 地域医療福祉協議会、日韓交流議員連盟 |
| 19日(木) 島根県市議会議長会要望活動 | 5日(火) 総合交通対策特別委員会 |
| 23日(月) 議会運営委員会 | 7日(木) 全国市議会議長会基地協議会第75回理事会 |
| 26日(木)～27日(金) 第128回中国市議会議長会定期総会(会場 出雲市) | 12日(火) 広報委員会 |
| 30日(月) 新内藤川・赤川対策協議会 | 15日(金) 全国市議会議長会第188回部会長会議、第184回理事会、第1回国と地方の協議の場に関する特別委員会 |
| 31日(火)～6月1日(水) 平成23年度第1回臨時市議会 | 19日(火) 広報委員会 |
| 31日(火) 全員協議会 | 22日(金) 総合交通対策特別委員会 |
| 6月1日(水) 議会運営委員会、全員協議会 | 25日(月) 原子力発電・新エネルギー調査特別委員会(島根原発視察) |
| 7日(火) 議会運営委員会 | 26日(火) 議会運営委員会、斐伊川・神戸川治水対策特別委員会協議会、新内藤川・赤川対策協議会、広報委員会 |
| 9日(木) 理事会、第9回合併協議会 | 27日(水)～28日(木) 全国市議会議長会基地協議会中国・四国部会定期総会 |
| 14日(火)～7月4日(月) 平成23年度第2回定例市議会 | 8月2日(火) 平成23年度第3回臨時市議会 |
| 14日(火) 議会運営委員会、全員協議会、環境経済委員会協議会 | 全員協議会、議会運営委員会 |

今後の本会議の予定

平成23年度 9月定例市議会 日程(案)

- | | | |
|--------------------------------|------------------|----------------------------|
| 8月31日(水) 本会議(開会、議案上程・説明) | 9月12日(月) 環境経済委員会 | 9月22日(木) 決算特別委員会 |
| 9月2日(金) 本会議(一般質問・1日目) | 13日(火) 建設水道委員会 | 26日(月) 決算特別委員会 |
| 5日(月) 本会議(一般質問・2日目) | 14日(水) 予算特別委員会 | 27日(火) 決算特別委員会 |
| 6日(火) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託) | 15日(木) 予算特別委員会 | 29日(木) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会) |
| 8日(木) 総務委員会 | 16日(金) 予算特別委員会 | |
| 9日(金) 文教厚生委員会 | 20日(火) 予算特別委員会 | |
| | 21日(水) 決算特別委員会 | |

市議会を構成する、常任委員会が議員任期四年の中間において交代しました。それに伴い、広報委員会のメンバーも代わりました。今議会だよりから新たなメンバーで市民の皆様は今まで以上に読みやすい議会だよりをお届けできたらと思っております。よろしくお願ひします。

六月議会では、看護系専門学校の誘致や合併関連事業の補正予算案件、条例改正案件などを審議し七月四日に閉会しました。今年度は、十月に斐川町の新たな合併が決定してまいります。人口が約十七万五千人であり、山陰では、三番目の都市になります。工業生産や農業生産を産業の核として山陰地域をリードする市となり、現執行部と斐川地区選出議員六名と共に、地域特性を生かした新出雲市を作っていく事が必要になると思っております。

(川上幸博 記)

編集後記

委員長 米山 広志
副委員長 松村 豪人

広報委員会

委員長 米山 広志
副委員長 松村 豪人
委員 飯塚 俊之
委員 小村 吉一
委員 川上 幸博
委員 廣戸 恭一
委員 勝部 順子
委員 山代 裕始
委員 多和 康司
委員 荒木 孝
委員 杉谷 利寿
委員 長廻 行之
委員 宮本 享

議会に関してのお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/>
出雲市ホームページの中の **出雲市議会** をクリック
メール : gikai@city.izumo.shimane.jp